

馬車鉄道と北海道

～馬車鉄道はなぜ消えたのか～



馬車鉄道とは

- 1807年（19世紀）のイギリスで誕生
- 客車に乗客を乗せ、レールの上を馬に走らせる乗り物



日本と馬車鉄道

- ・馬車鉄道が誕生してから75年後の1882年（明治15年）に「東京馬車鉄道」が新橋～日本橋間で開業

同じ年に環状線を作り、範囲を広げた

- ・レールの上をスムーズに進み、輸送力アップ、効率化、乗り心地の良さなどで全国に拡大

北海道と馬車鉄道

1

札幌石材馬車鉄道合資株式会社

- ・ 1904年（明治37）年に助川貞次郎、藪惣七、福井正之、高瀬金太郎の4人が出資をして設立
- ・ 1909年（明治42年）2月開業
- ・ 札幌の南にある石切山の軟石材の運搬を中心にしていたが、少しずつ旅客輸送を展開
- ・ 12人乗りで1日3往復、料金は1区3銭
- ・ 1912年8月社名を「札幌市街馬車軌道株式会社」に改名

北海道と馬車鉄道

2

札幌市街馬車軌道株式会社

- ・ 1911年（大正7年）に「開道50年記念博覧会」が札幌を中心に開催されることが決定し、電車に切り替えるチャンスになる
- ・ 1916年（大正5年）10月に「札幌電気軌道株式会社」に改名
- ・ 電気軌道の経営が決定
- ・ 1911年（大正7年）、電気軌道工事の着工
- ・ 同年8月12日営業開始
- ・ 料金は片道6銭

【年表】

1807年 文化4年	イギリスで馬車鉄道が誕生	
1882年 明治15年	東京馬車鉄道が開業	新橋～日本橋間で開業。 上野、浅草も加え環状線も開通。
1904年 明治37年	札幌石材馬車鉄道合資会社が設立	藪惣七ら4人が各1万円ずつ出資し設立。
1909年 明治42年	2月 開業	軟石材の運搬を中心にしていたが、旅客輸送を開始。
1910年 明治43年	終点を藻岩山山鼻から札幌駅前まで延長	
1912年 大正元年	8月 「札幌市街馬車軌道株式会社」に改名	区内の要となる地域に路線を増やし、区民の足になった。
1913年 大正2年	1981年に「開道50年記念北海道博覧会」が開催決定	馬車鉄道で便利にはあったが、糞尿の処理などで不満があった。
1916年 大正5年	10月 「札幌電気軌道株式会社」に改名	電気軌道の経営を決議。
1981年 大正7年	4月 電気軌道工事着工 8月1日 博覧会開会式 8月12日 営業開始	営業開始は博覧会の開会式に間に合わず、昼夜工事が進められた。 観覧者を運ぶ大動脈になった。

感じたこと・思ったこと

今回のコンクールがなければ私は「馬車鉄道」の存在を知らないままでした。

また、路面電車のルーツや普段触れることのない北海道の歴史を知ることができ、とても良い経験になりました。

今後、路面電車を利用するときに、馬車鉄道の名残がないかを気にして利用したいと思います。